

地区	No.	懇談事項	説明	担当部課名
つなぎ	1	<p>つなぎ老人憩いの家の存続について</p> <p>現在、つなぎ老人憩いの家につなぎ温泉鉱泉地所有者組合の入浴施設を合築していただいておりますが、これは、昭和56年御所ダム建設に伴うダム対策協議会及び土地区画整理組合関係者の生活再建と生活利便性について、当時の市長はじめ市当局に十二分に御理解をいただいた結果として実現したものであります。</p> <p>今回、市が作成した公共施設最適化・長寿命化中期計画案によりますと、当老人憩いの家は平成34年度から37年度にかけて一部機能を活動センターに移転し廃止するという内容になっております。</p> <p>現在の入浴施設は、平成29年度約37,000人強の方々が利用しております。1日平均約100人の地域住民が毎日楽しみにして入浴しております。つなぎ地区住民の健康高齢者の比率が市内の中でもずば抜けて高いのは、毎日この施設を利用して心身共にリフレッシュしながら健康増進に努めている結果であると考えます。正にこれこそ生きた「健康福祉政策」であります。</p> <p>さらに、本地区の老人クラブ会員始め高齢者の方々は、遠距離にある活動センターよりはむしろ近距離にある老人憩いの家を利用する機会が多く、先の8.9集中豪雨災害の折には独居高齢者等の避難先として大いに利用され、その存在意義は極めて高いものと考えます。</p> <p>以上のような観点から、大局的見地に立って、当老人憩いの家の将来的な存続を強く要望するものであります。</p> <p>どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>(繋温泉鉱泉地所有者組合)</p>	<p>老人憩いの家につきましては、「盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化中期計画」において、市民協働による維持管理の推進に取り組むこととされており、つなぎ老人憩いの家につきましては、サークル活動や高齢者の健康教室の実施などの役割をつなぎ地区活動センターに機能移転し、その後の建物や入浴施設の活用については、地域に民間譲渡することとして位置付けております。</p> <p>平成34年度から37年度の計画となりますことから、平成31年度に地元の方々との意見交換の場を設ける予定としております。なお、開設の際の経緯も承知しておりますことから、十分に協議の上進めてまいりたいと存じます。</p>	<p>保健福祉部 長寿社会課</p>

平成30年度 つなぎ地区まちづくり懇談会 懇談事項

平成30年10月4日(木)

地区	No.	懇談事項	説明	担当部課名
つなぎ	2	<p>市道26号線の整備について</p> <p>平成28年度から工事を実施していただき、愛真館付近までの部分は、今年度中の完成予定と伺っております。</p> <p>工事完了部分は、大変きれいに整備していただき、観光客の皆様から喜ばれています。</p> <p>については、その先の部分(四季亭付近まで)の道路についても、現在、道幅も狭く歩道もないため、観光地であることも踏まえて整備を進めていただきたいが、今後の整備計画を伺いたい。</p> <p>(つなぎ温泉観光協会)</p>	<p>市道繫26号線につきましては、平成24年度に事業の着手を行い、道路設計や融雪装置等の設計検討、関係者との協議を経て、平成28年度より工事に着手しており、愛真館付近までを一つの工区として、平成30年度内の完成を目標に道路改良工事を進めているところであります。</p> <p>なお、その先の区間につきましては、歩道が無い状況であり、観光客を含めた歩行者の安全で快適な歩行環境が必要と存じております。</p> <p>今後、総合計画に位置付けた上で、現況の道路幅員の中で歩行者の通行空間を確保するなど、新たに検討を進めてまいります。</p>	建設部 道路建設課

平成30年度 つなぎ地区まちづくり懇談会 懇談事項

平成30年10月4日(木)

地区	No.	懇談事項	説明	担当部課名
つなぎ	3	<p>手づくり村の今後の振興策について</p> <p>平成28年に30周年を迎えた手づくり村ですが、ここ数年は入込客数が減少しているようですが、つなぎ温泉に最も近い観光施設として重要と考えております。</p> <p>また、2次拡張のために土地を買い上げた部分が、未利用になっております。</p> <p>それらを踏まえて、今後の展開をどのように考えているのか、具体的に伺いたい。</p> <p>(つなぎ温泉観光協会)</p>	<p>取得済の拡充用地につきましては、現在、その一部をつなぎ温泉病院や薬局に駐車場として貸し出しておりますが、今後の活用方法については、施設の改修と併せて、施設全体の魅力向上を図る中で検討することとしております。特に主要な施設であるセンター棟は大規模な改修が見込まれることから、その実現に向けては、運営する財団法人の経営強化や支援方法を検討してまいります。</p> <p>今後、専門的知見を入れた検討を実施するほか、広域8市町での取組強化を図ることで、盛岡手づくり村の「ものづくりの拠点性」向上に努めるとともに、今年度に着任予定であります地域おこし協力隊員の活動と併せてつなぎ地域全体の活性化を図ってまいります。</p> <p>また、平成31年の11月には、国や関係機関の主催により伝統的工芸品月間国民会議全国大会が、盛岡市を主会場として、岩手で開催されることが決定しており、ものづくりをはじめとした盛岡の地場産業のより一層の盛り上がり期待されますことから、連携した取組を進めてまいります。</p>	<p>商工観光部 ものづくり推進課</p>

平成30年度 つなぎ地区まちづくり懇談会 懇談事項

平成30年10月4日(木)

地区	No.	懇談事項	説明	担当部課名
つなぎ	4	<p>スイミングプール跡地の活用について</p> <p>本地区に多目的運動場が出来、今後スイミングプール跡地等の活用が県への統一要望として出されているが、その内容と見通しについて。</p> <p>また、将来交流人口の増加に伴い、上下水道設備の設置が急務と思われるがどうか。</p> <p>(つなぎ町内会)</p>	<p>岩手県所有のつなぎスイミングセンター跡地の活用につきましては、平成29年度から隣接する盛岡市つなぎ多目的運動場との相乗効果が期待できる活用の検討を要望しているところであります。</p> <p>要望に対する平成30年度の県からの正式な回答はこれからになりますが、平成29年度は、「現状は、大規模イベント開催時における臨時駐車場などとしての利用を見込んでいる。また、当該跡地は都市公園として利用可能な貴重な空間であると認識していることから、その活用に関する公園利用者のニーズや地域振興の観点から盛岡市の意向も踏まえながら将来的な利活用について検討していきたい。」との回答をいただいておりますことから、引き続き、施設跡地の整備の在り方について機会を捉えて要望してまいりたいと存じます。</p> <p>また、上下水道部に伺ったところ、上水道につきましては、給水区域外であり、また給水区域から菟内沢を経て1.3kmほどの距離を有しており、水質保持の観点と施設整備に多額の費用を要することから上水道の整備は難しいと伺っております。</p> <p>また、下水道整備につきましても、つなぎ多目的運動場が公共下水道基本計画区域外となっておりますので、汚水処理方法は、原則として公共下水道以外となりますことから整備は難しいと伺っているところでございます。</p> <p>なお、現在使用している井戸水につきましては、水質保全及び安定供給について引き続き検討してまいります。</p>	<p>市民部 スポーツ推進課</p>